

泉陽会 会報



編集発行・大阪府立泉陽高等学校

同窓会 泉陽会

〒590-0943 堺市堺区車之町東3丁2番1号

大阪府立泉陽高等学校内

TEL (072) 227-6030

FAX (072) 232-0005

URL <http://senyokai.jp/>

印刷：宏和印刷株式会社 代表取締役 八十 りゅう



【いづみ第56号 コンテンツ】

表紙「母校の今」	1
令和6年度総会及び懇親会	2
福井会長挨拶	3
栗山校長挨拶	3
令和6年度事業報告	4
令和6年度事業計画	6
令和5年度収支決算報告(詳細はQR)	8
泉陽会令和5年度末財産目録(詳細はQR)	8
令和6年度予算案(詳細はQR)	8

公開講座	8
「恩師は今」	9
東京支部だより	10
同好会だより	11
同窓会だより	11
令和5年度大学合格者状況(詳細はQR)	14
令和6年卒76期代議員及びクラス幹事	14
令和5年度教職員異動情報	14
むすびの会、泉陽会について	15
伝言板、編集後記	16

泉陽高校同窓会

検索

一度アクセスを！ 様々な情報に出会えます。
(情報の提供は「koho@senyokai.jp」まで)



令和6年度 泉陽会 総会・懇親会の報告

開催日：令和6年4月7日(日)

当日は、雨に降られず日差しも穏やかで、会館の玄関を彩る桜花も見ごろと、この日を祝福しているように思えました。

また、5年ぶりの「懇親会」に参加された会員の皆さんは楽しく過ごされたと思います。つぎのとおり、総会及び懇親会について報告します。

総会

- ・開催時間：10時30分～12時
- ・開催場所：泉陽会館2階集会室
- ・出席人数(内訳)
 - ・校長・教頭・事務長 3名
 - ・執行委員 17名
 - ・会 員 34名
 - 合 計 54名

議案NO.	議 題
第1号議案	令和5年度事業報告
第2号議案	令和5年度収支決算報告
第3号議案	令和5年度会計監査報告
第4号議案	令和6年度事業計画(案)
第5号議案	令和6年度予算(案)
第6号議案	財務書類の保管管理 基準報告
第7号議案	能登半島地震災害 義援金報告



- 川端 満 組織委員長(27期)が司会進行
 - ・「君が代」「校歌」「旧校歌」を全員で斉唱
ピアノ伴奏：山本安祈子(20期)
 - ・福井隆一郎 会長(18期)の挨拶
 - ・栗山 悟 校長の挨拶
 - ・荒木 順子 教頭(42期)の教職員異動紹介
- 小西 正明(19期)を議長に選出
- 議事録署名人に次の2名を指名
 - ・瀧口 信子(28期)
 - ・大浜誠一郎(29期)

左記第1号～7号議案は可決承認されました。



福井会長



栗山校長



天野東京支部長

懇親会

- ・開催場所：南海グリル東店3階
- ・開催時間：12時30分～15時30分
- ・参加人数：91名

混声合唱団「陽(ひかり)」の有志によるコーラスからスタート。(なお、「陽」は本年3月10日をもって解散しています)

- コーラス17名
ピアノ演奏：山本安祈子(20期)
曲目：
 - ・曲がりかど
 - ・春のたより
 - ・愛燦燦
 - ・おまつりマンボ



「陽」有志のコーラス

- フルート演奏：末原 諭宣(28期)
曲目：グルック作曲：精霊の踊り
：ポルディーニ作曲：人形の踊り
最後に「泉陽高校生徒歌」を参加者全員で合唱

- 小川泰造氏(昭和26年卒3期)の乾杯の音頭で宴会がスタート。ステージ上で様々な方々からのメッセージが披露され、参加の皆さんは久しぶりの懇親会に、あちこちのテーブルで話の花を咲かせていました。



フルート演奏
末原諭宣さん



懇親会参加者



懇親会会場

次回は令和7(2025)年4月6日(日)に開催します！

会長ご挨拶

泉陽会会長 福井隆一郎(昭和41年卒・18期)

皆様 こんにちは！ 平素は格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、泉陽会の役員、代議員の皆さんと、この一年お仕事をさせて頂き、一番感じた事は、異口同音にすごい情熱で泉陽会のお仕事に取り組んでおられる事です。

私は昨年、会長という大役を仰せつかり、温かくご指導いただき感謝の念で一杯です。栗山校長先生はじめ先生方の教育に対する取り組みにも情熱があふれ、現役の学生も泉陽高校生として、勉学、学校行事、クラブ活動を始め充実した高校生活を送っています。泉陽会は、現役の学生はもとより、卒業された方々の心の故郷としての役割です。それらを含めて、泉陽会の存在を高めていかななくてはと思います。

ところで、ようやくCOVIDの影響から本来の事業が復活し始めました。泉陽会も、クラブ交流会、公開講座、むすびの会、二十歳の会、晶子研究会などをより活発になるように進めていく予定で、ホームページや「会報いづみ」の充実、年々複雑になる事務の効率化を図っています。

また、創立120年を超える泉陽高校は、多くの優れた人材を輩出しています。新たに、泉陽人材バ

ンクとして、多方面でご活躍している方々の紹介や情報を通じて、泉陽会組織の強化を考えています。

さらに、大事な生徒の支援を充実したいと思います。昨年は学校側からの要望で、教育相談室の設置に伴い、必要備品購入の援助をしました。伸び盛りの生徒の心のケアに役立っているとのことです。

また、東京支部の活発な活動にも協力していきたいと思います。昨年は、総会に大勢の方々から来られ、校内を見学して懐かしんでおられました。東京支部の行事への積極的な御参加もお願い致します。

ところで、泉陽高校は地域での評判が高く、学校見学会の応募者も多く、先生方のご努力で学力も上がっています。旧堺市の環濠の中に位置する唯一の高校である泉陽高校は、今後益々、伸びていくことでしょう。学校の正門の横に掲げられている各クラブの優秀な成績は、輝かしいものと思います。さらなる上を目指して頑張りたいと思います。



校長ご挨拶

泉陽高等学校 校長 栗山 悟

泉陽会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校へ多大なるご支援を賜り、心からお礼申し上げます。昨年度はご支援によりカウンセリング・ルームが整備できましたこと、改めて感謝申し上げます。

さて、今春の高校入試では、「府内公立高の半数近い70校が定員割れとなる事態に。大阪の教育界は無償化ショックの波紋が広がっている」との報道を皆さま目にされたかと存じます。一般選抜の平均倍率は1.05倍(昨年1.13倍)となり、私自身も「まさかこれほどとは」と衝撃を受けました。

一方、本校は320名定員(8クラス)のところ444名もの志願者を集め、近年と変わらず約1.4倍の高志願率となりました。大変有難いことですが、この状況下での変わらぬ倍率の高さに、職員一同気持ちを引き締まる思いです。だからというわけでもありませんが、今後の学校運営にも反映したいと考え、入学直前の本校合格者に対して、泉陽高校に対するイメージなどを尋ねるアンケートを実施しました。

泉陽を志望した一番の理由は「自分の学力に合っている」という回答でしたが、これはある意味当たり前で、実質的に最大の志望理由は「校風(学校の雰囲気・イメージ)が良い」というものでした。では「泉陽高(泉陽生)に対する印象は？」(15選択肢の中から3つ選択)と問うと、「楽しい」「活気がある」「自由」の3つが圧倒的多数で、特に「楽しい」は回答者の9割近くが選択する結果となりました。以下は「伝統」「真面目」「優しい」などの回答が続く、泉陽を大変肯定的に健全な学園として



「進取果敢」堂本雅人氏による揮毫

捉えてくれている様子が伺えました。こういった思いを抱いて入学してくる生徒たちを育てていくために、今後どのように学校運営を進めていくべきか、私自身は倍率の高さによること以上に、緊張が高まった次第です。

…と、少々頭を抱えているときに、これまたビッグニュースが飛び込んできました。報道発表等でご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、4月16日に文部科学省から「高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)」の指定を受けました。これは、情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、ICTを活用した文理横断的な探究的な学びを強化する学校などに対して、必要な経費を支援する国の事業です。具体的には全国で約1,000校に対して1,000万円ずつ支援、つまり総額100億円もの巨費が投じられます。本校は大学や病院など様々な外部と連携を図り、デジタルを活用した探究的な学びを展開していこうと考えているところです。また、同窓会の皆さまにも、その成果をお伝え出来ることを願っております。

令和5年度事業報告

1. 総務委員会

計画に基づいて、在校生支援活動、会議録作成、資料作成、会館の備品等の管理などを行いました。

◎会議(執行委員会、代議員会)の実施状況

●執行委員会

	年月日	内容
第1回	令和5年5月20日	委員会報告(総会報告他)
第2回	令和5年7月15日	委員会報告
第3回	令和5年9月2日	委員会報告
第4回	令和5年10月14日	委員会報告
第5回	令和5年11月18日	委員会報告 令和6年度予算案について
第6回	令和5年12月9日	委員会報告(会議後懇親会開催)
第7回	令和6年2月17日	委員会報告 令和5年度決算報告 令和6年度事業計画案について
第8回	令和6年3月16日	委員会報告 令和5年度事業報告

●代議員会

第1回	令和5年7月15日	委員会報告
第2回	令和5年12月9日	委員会報告 令和6年度事業計画案について
第3回	令和6年2月17日	委員会報告、令和4年度決算報告 令和6年度事業計画案について

◎会館使用状況

泉陽会館使用状況(令和5年4月1日~令和6年3月31日)主なものを記載

- ・執行委員会(代議員会含む) 8回
- ・床清掃 7回
- ・同窓会 95回
- ・学校 214回(同窓会関係:むすびの会、混声合唱団「陽(ひかり)」、コール・いづみ、コール・ドラフト、混声合唱団「ひだまり」 他の学校関係:ダンス部(108回)、校長会、PTA実行委員会 他)

◎名簿関係

- ・75期の卒業生(358名)分については学校側から資料をいただき、株式会社サラトに資料を送り、データの入力を依頼しました。
- ・株式会社サラトにホームページ等にて住所変更を依頼しました。
逝去の方に関しては電話、FAX等で同窓会館に連絡があるため、担当者が確認後に株式会社サラトへ連絡しました。(住所変更等 359件)
- ・「会報いづみ」の発行後、代議員の方に住所不明者を連絡し、新住所の調査を依頼しました。
- ・宛名シール(学年同窓会等)の作成、発送業務については株式会社サラトに依頼しました。(5件)

	令和4年3月末現在	令和5年3月末現在
総会員数	38,969名	39,327名
新会員数	358名	358名
物故者数	4,496名	4,639名
いづみ発送部数	21,939名	21,888名
いづみ戻り部数	338名	371名

2. 組織委員会

◎令和5年度総会

コロナ禍に対し措置をとり、無事総会が終了しました。

- ・開催日時:令和5年4月2日(日)
午前10時30分~12時
- ・開催場所:泉陽会館2階集会室
- ・出席人数:55名
校長 教頭 事務長 元校長 4名
執行役員 21名
代議員 会員 30名
計55名

○岡本雄介 組織委員長(29期)が司会進行

- ・君が代、校歌、旧校歌は石毛先生(31期)によるピアノ演奏のみ(全員での斉唱はなし)で開会
- ・伊藤裕康(21期)会長の挨拶
- ・栗山 悟校長の挨拶
- ・荒木順子教頭(42期)による教職員異動の紹介
- ・議長選出 小西正明(19期)
- ・議事録署名人 長山 茂(21期)
富田博子(23期) 2名を指名

○令和2年に役員が改選され、泉陽会会則(平成28年4月第8条「本会の役員等の任期は3年とする。ただし、再任は妨げない。」)に基づき、下記の通り役員改選を行いました。

総会にて承認された新役員は次の方々です。

○令和5年度新役員

役職	新任者名	卒年	期
会長	福井隆一郎	昭和41年	18期
副会長	箕野 宏士	昭和50年	27期
副会長	岡本 雄介	昭和52年	29期
会計監査	赤松 健次	昭和44年	21期
会計監査	山崎 博行	昭和49年	26期

- ・東京支部長・天野純一(30期)の挨拶
なお、今回は東京支部から6名の方が参加されました。
- ・新会長・福井隆一郎(18期)の挨拶
- ・総会後の懇親会はコロナの影響で開催を見送りました。

◎「公開講座」

タイトル ー創作玩具からひろがる世界

動きを愉しむ木のおもちゃー

開催日時:令和5年10月14日(土) 15時~

場所:泉陽会館2階集会室

講師:青木宏子さん(昭和63年卒40期)

参加者:30名

内容:創作玩具「転動玩具」を使い、「創作」という観点から色々な場所で様々な方々に「モノづくり教育」の活動をされているというお話でした。
講座の内容は、実際に木のおもちゃに触れて、使って楽しんでいただくようになっており、役員、会員、その家族の皆さんとともに楽しく過ごすことができました。

青木宏子さんプロフィール

《学歴》

- ・昭和63年3月 大阪府立泉陽高等学校卒業(40期)
- ・平成5年3月 大阪教育大学教育学部小学校教員養成課程美術専攻卒業(教育学士)
- ・平成7年3月 大阪教育大学大学院教育学研究科美術教育専攻
工芸・デザイン専修(教育学修士)
- ・平成9年3月 大阪教育大学美術教育講座立体デザイン研究室 大学院研究生修了

《現職》

- ・創作玩具工房サニープレイス代表、創作玩具作家
 - ・大阪教育大学、関西学院大学、関西外国語大学、常磐会学園大学の各大学の非常勤講師
 - ・東布施辻本クリニック デイケアプログラム「創作」講師
 - ・堺市自転車博物館「シマノ・サイクルセンター」手づくりおもちゃ教室講師
- ◎文化部・運動部「クラブ交流会」第2回開催について
令和元年6月に第1回目が開催され、「是非次回の開催を」との声が多くあったため、皆さんの要望を取り入れるべく検討してまいりましたが、現状のコロナ禍の状況での開催は不可能と判断しました。
- ◎三国丘高校との交流について
2024年3月3日(日)にバレーボール部の定期戦が開催されました。
- ◎「二十歳の会」成人式を迎える卒業生の報告
- ・開催日時：令和6年1月4日(木)
17時受付、18時開宴
 - ・開催場所：ホテルアゴーラ・リージェンシー大阪堺
 - ・対象卒年：令和4年卒・74期生
 - ・参加者数：279名(卒業生386名)の同窓生と教職員6名
 - ・例年通り、泉陽会から支援金を支出しました。

3. 広報委員会

◎ホームページ

- ・「むすびの会」のスケジュールおよび「泉陽ゴルフコンペ」の結果報告については、継続して掲載しています。
- ・泉陽会2名の方の出版された書籍と「公開講座」の案内も掲載しています。「夢・感動・泉陽！」で検索できます)

4. 財務委員会

- ・令和5年度、入出金の管理
- ・年会費のコンビニ支払い継続

5. むすびの会委員会

- ◎令和6年1月末現在会員数
- ・男性16名
 - ・女性17名 計33名
- ◎平成6年発足からの成立件数 129組
- ◎委員会例会8回
- ◎会員閲覧 第二、第四土曜日
14時～16時 予約制で実施
- ◎見合い立ち会い10件
- ◎他校委員会との交流会 3回

6. 東京支部

◎東京支部同窓会

日時：令和5年6月17日(土) 16:00～
会場：ライブハウスレストラン BLUEMOOD
参加者：昭和27年卒から平成26年卒の同窓生44名が出席(内、初参加者17名、大阪から3名)

◎第38回 江戸・東京さんぽ

開催日：令和5年8月19日(土)
企画：「夏のアートアクアリウム展2023
～銀座の金魚～」鑑賞

参加者：21名

◎第39回 江戸・東京さんぽ(秋)

開催日：令和5年11月18日(土)
企画：「小石川植物園」散策と「柴田記念館」見学
参加者：昭和27年から昭和54年までの17名

7. 同好会

7.1 晶子研究会

◎タイトル：「晶子フォーラム2023

(主催：与謝野晶子倶楽部 共催：さかい利晶の杜)

日時：令和5年5月27日(土) 14:30～16:30

会場：堺市総合福祉会館大ホール

定員：496人

- ・第1部 合唱 14:30～15:00
出演：泉陽高校音楽部、ヴォーチェ・コン・カローレ、Chor.Draft、コールいづみ有志
- ・第2部
講演：15:15～16:30
講師：松村部由利子(歌人、「かりん」編集委員)
テーマ：「大正時代における与謝野晶子」

◎泉陽会から和田武子他2名の方が参加されました。

◎タイトル：ギャラリー展「アートで彩る晶子の姿」

会期：令和5年5月23日(火)～6月4日(日)の13日間

会場：さかい利晶の杜

2階企画展示室半室、1階茶室 ほか

内容：晶子倶楽部会員によるギャラリー展

◎ここ数年間、「晶子倶楽部」への取組みが停滞しているため、本年度より新たに名簿を作成して、会員への加入を呼びかけ、8名の方が加入されました。

7.2 混声合唱団「陽」

・第60回大阪府合唱祭

令和5年6月11日(日)

SAYAKAホール

(休団員が多い中、何とか出場できました)

・第14回関西混声合唱

フェスティバル

令和6年3月10日(日)

豊中市立文化芸術センター



7.3 ゴルフ同好会

泉陽会・ゴルフ 同好会(開催場所：天野山c.c.)

定例会合	開催日時	優勝者	卒年	参加数
第146回	令和5年3月17日	打越 勝	昭和44年	15名
第147回	令和5年5月12日	間吾泰芳	昭和55年	17名
第148回	令和5年9月8日	河浪秀次	昭和55年	21名
第149回	令和5年12月1日	田中康夫	昭和44年	15名

令和6年度事業計画

1. 総務委員会

令和6年度の計画

令和6年度日程を作成、これに基づき活動します。

- ◎事業継続(在校生支援活動)
- ◎会議 執行委員会 年8回(4、6、8、1月は休み)
代議員会 年3回
(会議前日の午前中に清掃業者による床清掃7回(3月は休止))
- ◎慶弔規程による電報等の発信
- ◎卒業証書入れ(A4両開きファイル)の贈呈
- ◎各委員会の会議記録、資料作成、備品等の管理・保管
- ◎会館の運営管理
- ◎名簿管理
 - ・業務委託の株式会社サラトとデータを共有し、会員からの情報等によりデータを最新のものに保持します。
 - ・76期の卒業生(320名)の資料を学校からいただき、株式会社サラトに送付します。
 - ・ホームページを使った方法で住所変更を行います。
 - ・「会報いづみ」を発行後の住所不明者は代議員に調査依頼を行います。
 - ・宛名シール(学年同窓会等)の作成依頼、発送業務については株式会社サラトに依頼します。

2. 組織委員会

- ◎令和6年度の総会開催について
総会後の「懇親会」を復活します。
- ◎「公開講座」の年2回実施
 - ・第1回目
開催日時：令和6年6月8日(土)
15時～16時30分
泉陽会館2階集会室
テーマ：「大阪湾の海の生物」
講師：鍋島靖信氏(昭和47年卒・24期)
 - ・第2回目 令和6年10月19日(土)(仮日程)
「相続・遺言の基礎知識と相続登記義務化について」(確定次第ホームページで公開)
- ◎第2回「クラブ交流会」の開催
令和6年11月9日(土)に開催予定
- ◎「二十歳の会」の支援
 - ・対象学年：令和5年卒75期生
 - ・開催日：令和7年1月5日(日)
 - ・開催場所：ホテルアゴーラ・リージエンシー大阪堺

3. 広報委員会

- ◎「会報いづみ」の発行
紙及び印刷費の高騰や郵便料金値上げが予定されており、紙からホームページへの移行も検討
また、発行費用の抑制のため、広告掲載も検討
- ◎ホームページ
多方面からの情報を数多く掲載します。

4. 財務委員会

- ・令和6年会計年度における入手金の管理
- ・泉陽会活動のサポート用に寄附システムを構築

5. むすびの会委員会

- ・委員会例会
- ・会員の閲覧
第2、第4土曜日 14～16時 予約制で実施
- ・見合いの立ち合い
- ・他校委員会との交流会
合同お見合いの計画あり(実施は未定)

6. 同好会

6.1 晶子研究会

晶子フォーラム2024・国際啄木学会2024年堺大会のお知らせ(主催：与謝野晶子倶楽部、国際啄木学会 共催：さかい利晶の杜)

120年のいま、晶子と啄木に学ぶこと

- ◎日時：令和6年5月25日(土)13：20～16：40
※開場：13：00

会場：フェニーチェ堺 小ホール

参加費：一般1,000円、

与謝野晶子倶楽部会員500円、学生無料

内 容

- ◎第Ⅰ部 13：20～
朗読と合唱
「晶子と啄木の詩歌をうたう」
合唱(出演：泉陽高校音楽部、ヴォーチェ・コン・カローレ、Chor.Draft、コールいづみ有志他)
※ウクライナ語の朗読の後に「君死にたまふことなかれ」の大合唱
- ◎第Ⅱ部 14：30～16：40
講演とシンポジウム 14：30～15：00
太田 登：基調講演
「晶子と啄木におけるトルストイ体験」
シンポジウム 15：05～16：35
「時代を超える晶子と啄木」
発表者：池田功、松平盟子、田口道昭
司会：たつみ都志
- ◎第Ⅲ部 交流会
日時：令和6年5月25日(土)17：30～19：30
会場：ホテルサンプラザ堺アネックス
定員：70名
参加費：会員6,000円程度
会員以外7,000円程度

◎【研究会】

日時：令和6年5月26日(日) 9:00～11:50

会場：さかい利晶の杜1階茶室

9：00～10：00 企画展

「堺から世界に響け！君死にたまふことかれ」

自由観覧

10：10～11：50 研究発表と討論

古澤夕起子、阿部愛美、田山泰三：

晶子の評論について他

【ギャラリー展「アートで彩る晶子の姿」】

- ◎会期 令和6年5月18日(土)～6月16日(日)の
30日間 ただし、華道は5月18日(土)
～19日(日)の2日間

会場 さかい利晶の杜 2階企画展示室半室、
1階茶室 ほか

内容 晶子倶楽部会員によるギャラリー展

観覧料 一般300円、高校生200円、

中学生以下無料(専用ハガキをお持ちの方は無料)

6.2 ゴルフ同好会〔令和6年度 ゴルフ同好会 予定〕

定例会合	開催日時	開催場所
第150回	令和6年3月19日(火)	天野山c.c.
第151回	令和6年5月14日(火)	天野山c.c.
第152回	令和6年9月10日(火)	天野山c.c.
第153回	令和6年11月26日(火)	天野山c.c.

◎問い合わせは、
 泉陽ゴルフ幹事 竹山三郎(昭和48年卒・25期)
 090-3358-0392迄

6.3 混声合唱団「陽(ひかり)」

◎令和6年3月10日(日)に豊中市立文化芸術センターで行われた、「第14回関西混声合唱フェスティバル」のステージを最後に、混声合唱団「陽」は解散いたしました。
 2002(平成14)年に8名でスタートし、22年間の活動に幕を閉じました。
 なお、令和6年度総会後の懇親会の席で有志による合唱を披露しました。

財務書類の保管管理基準の設定

現在の泉陽会館倉庫には、財務書類として10年以上前の会計帳簿(収入、支出、現金出納、領収証)が保存されていますが、倉庫内の保管場所も限りがあることから、廃棄基準を設けることを財務管理委員長から提案がありました。

今後は、廃棄基準として国税法に準じた保存期間を設定し、保存期間を過ぎた会計帳簿は廃棄することとします。

【仕訳例】

永久保存：定款・規約、議事録、財務諸表、会計帳簿、資産台帳

一定期間保存(7年)：領収書、請求書、通帳

能登半島地震の災害義援金の寄付

執行委員会において、令和6年(2024年)1月に発生した能登半島地震で被災された方々を支援してはどうかとの意見が上がりました。2011年3月11日の東日本大震災時に、泉陽会より災害義援金の寄付を行った先例もあり、この度も災害義援金(10万円+総会時の募金をあわせた金額)の寄付を行います。

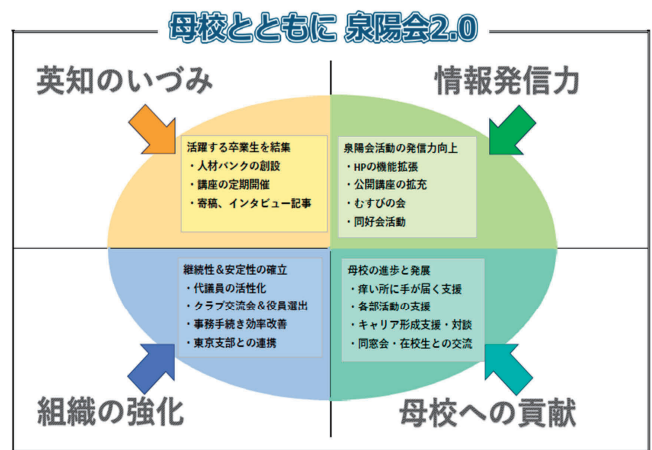
新規事業の推進

新規事業として、令和5年10月14日開催の執行委員会及び代議員会で検討・承認済みの「母校とともに泉陽会2.0(人材バンクの創設、情報発信力、組織の強化、母校への貢献)」について積極的に取り組みます。

「母校とともに 泉陽会2.0」とは、これまで泉陽会の先輩諸氏が尽力し積み上げられてきた軌跡を集大成し、さらなる発展を目指す取り組みです。泉陽会2.0は、次の四本柱で構成しています。

- ①英知のいづみ「人材バンクの創設」
 各方面で活躍されているOB・OGの貴重な経験・知識を蓄積し、公開講座、「会報いづみ」、泉陽会HP等で積極的に共有・発信していきます。
- ②情報発信力の強化
 泉陽会HPの機能拡張を始めとし、より充実した有用な情報を発信します。
- ③組織の強化
 代議員の活性化、クラブ交流会、東京支部との連携強化を通して、泉陽会運営のための人材確保と強化を行います。
- ④母校への貢献
 母校および各部活動の支援、同窓会と在校生との交流の場を設け、切れ目のない泉陽会を目指します。
 伝統ある母校の次の100年に向けて、泉陽会の継続と発展にはOB・OGである「あなたの協力と支援」が必要不可欠の事業です。
 そして泉陽会2.0の活動の一環として「社会貢献事業」を開始します。

具体的には、「AEDを使用した心肺蘇生法」に特化した公開授業を、年1回以上継続的に実施します。対象者は、泉陽会の会員及びそのご家族や友人、地域住民、在校生及び教職員です。(在校生については学年単位の授業も考えています)



詳細については、表紙のQRコードで確認できます。

なお、この授業は「SDGs」の17項目のうちの次の項目を意識したものです。

- ・項目3(すべての人に健康と福祉を)

泉陽会に関係する人々に対して、平穏な日常生活を送るために必要な知識及び技術を伝えます。



- ・項目4(質の高い教育をみんなに)

生涯教育の一環としての環境を提供します。



- ・項目11(住み続けられるまちづくりを)

泉陽高校のすべての在校生が、心肺蘇生法をマスターすることにより、地域社会において災害に強いまちづくりに貢献できる力を養います。



令和5年度収支決算(抜粋) (令和5年1月1日~令和5年12月31日) (単位:円)

	予 算	決 算
収入の部	16,226,431	16,254,218
前年度繰越金	8,723,431	8,723,431
支出の部	16,226,431	16,254,218
次年度繰越金		9,061,385

泉陽会 令和5年度末 財産目録(抜粋) (令和5年12月31日現在) (単位:円)

通常会計	9,061,385
修繕積立金	15,133,744
記念事業積立金	6,178,001

令和6年度予算(抜粋) (令和6年1月1日~令和6年12月31日) (単位:円)

	令和6年度	令和5年度(参考)
収入の部	16,447,385	16,226,431
支出の部	16,447,385	16,226,431
予備費	8,347,385	8,846,431

なお、詳細については表紙のQRコードで確認できます。

公 開 講 座

～ 創作玩具からひろがる世界 動きを愉しむ木のおもちゃ ～

開催日時: 令和5年10月14日(土) 午後3時～

開催場所: 泉陽会館2F 会議室

参加者: 30名

講師: 青木 宏子(昭和60年卒 40期生)

内 容: 創作玩具である「転動玩具」を使い、「創作」という観点から様々な方々を対象にした「モノづくり教育」の活動についての話の後、グループに分かれて実際に木のおもちゃ作りがスタートしました。種類は、かたつむりの「つむりん」とかえるの「でんぐりがえる」の2つで、参加者の皆さんは自分なりの色付けを施しながら、完成したおもちゃの不思議な動きに驚きの声を上げていました。まるで童心に戻ったような、和気あいあいとした雰囲気の中での講座でした。(詳細については、泉陽会ホームページに掲載しています)



なお、青木宏子さんのプロフィールについては、令和5年度事業報告の中の「公開講座」欄に詳しく記載しています。

～ 恩師は今～ 英語講師として泉陽高校に赴任した「ジオさん」

今回ご登場いただきますのは、泉陽高校で2005年から2009年まで英語講師として教鞭を執られた日本文化が大好きなアメリカ人の「ジョバンニ・スタビレ」先生です。

①なぜ日本へ？

(広報) ジオさんが大学ご卒業直後に日本へ来られた時は22歳でしたが、来日の経緯をお話いただけますか。

(ジオ) 私はペンシルベニア州立大学を卒業しました。ただ、卒業間際まで、どのような仕事に就くのかを決めかねていました。その頃の私は、旅をすることと異文化にとっても興味が有り、外国に住みたいと思っていました。

そんな時、ちょうど前年に卒業した私の友達が日本に移住しており、私に「日本で英語講師の仕事をしなにか？」とメールをくれたのです。その彼女は日本での生活がとても気に入っており、私にもきっと合うだろうと思ったそうです。

さらに、同じ大学で知り合った日本人留学生たちも、日本行きを勧めてくれたのです。

②泉陽高校での思い出は？

(広報) そうだったのですか。ところで、泉陽高校で英語講師をしていた時期で、最も印象深かった思い出を教えてください。

(ジオ) よく思い出すが、「ナイトメア・ビフォー・クリスマス」(1994年日本公開)という映画を教材に授業をしていたことです。自分の大好きな映画を生徒たちと共有し、それを通して「ハロウィン」や「クリスマス」のことを伝えたかったのです。私が最も幸せな気分になったのは、その映画に出てくる歌を、生徒が校舎の廊下を歩きながら歌うのを聞いた時でした。

また、生徒たちとは「ESS部の活動」もよく楽しみました。中でも、神戸のルミナリエを見に行ったり、ゲームやパーティーをしたり、さらに毎年その季節になると、「サンクスギビング(感謝祭)のディナー」を学校内で生徒たちと一緒に作ったりもしました。

③帰国後の暮らしや職歴は？

(広報) とても良い思い出ですね。きっと生徒たちにも印象深いと思います。ところで、泉陽高校での英語講師を終えた後は、どのような生活を送られましたか？

また、アイビーリーグ(ハーバード大学やエール大学のような難易度の高い大学群)の中の「ペンシルベニア大

学」にお勤めだと聞きましたが、職歴も含めて教えてください。

(ジオ) 大阪を後にして、一年間はオーストラリアで過ごし、その後フィラデルフィアに戻ってESL(いわゆる留学生のための英語コース)でマネージャーをしました。ちなみに、その生徒たちは50か国以上の国から英語を学ぶために来ていました。

さらにその後、非営利団体の学校のディレクターもしましたが、そこは移民の人たちが英語を学んで大学に入学したり、仕事を得たりするのを支援する学校でした。

そして、現在は「ペンシルベニア大学」の言語発達部門で、その卒業生や資料提供者たちと働くとともに、自分自身も修士課程の学生です。

④現在の余暇の過ごし方は？

(広報) あなたの職歴は興味深いですね。最後になりましたが、余暇はどのように過ごされていますか？

(ジオ) 時間があれば旅行をしたいと考えており、今までに45か国に行きましたが、今でも年一回は海外旅行に行きたいですね。

また、私は料理をすることが好きで、パートナーのマイクとよくディナーパーティーをします。特にイタリア料理や日本食をよく作ります。

さらに、学校の宿題などで忙しくない時は、読書やジグソーパズルをしたり、友達とビリヤードもします。

また、できるだけブロードウェイでのミュージカルやコンサートには出掛けるようにしており、リラックスしたい時はジブリ映画やワンピースを観ます。

(広報) 楽しいお話をありがとうございました。またいつか、このコラムに再度ご登場くださることを願っています。

皆さん、いかがでしたか？ ジオさんは様々な経歴の持ち主でしたが、国籍を問わず一貫して英語教育に奔走している姿に感動しました。

今回登場していただいたジオさんにまつわる思い出話をお持ちの方は、是非とも泉陽会までお便りをお寄せいただきたいと思います。

(メールアドレスは、koho@senyokai.jpです)

ちなみに、ジオさんが英語講師として泉陽高校に在籍した時期は、2005(平成17)年から2009(平成21)年ですので、ちょうど58期生から61期生あたりがお世話になったと思われます。



東京支部 活動報告 2023

東京支部長 天野純一(昭和53年卒 30期)

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

2023年度の活動報告をさせていただきます。

6月17日(土) 東京支部同窓会を開催 (写真①)

弊店のライブハウスレストラン「BLUEMOOD」において、16:00より開始いたしました。今年は、初参加14名と大阪からの参加3名を含め、昭和27年卒から平成26年卒の同窓生44名が出席しました。

私の挨拶をかわきりに、わざわざ堺からお越しいただいた、本部副会長の岡本雄介さん(29期生)による来賓のご挨拶と続き、前日より銀座で展示会を開催されていた絵師の木村英輝さん(13期生)による展示会と高校時代の楽しいお話を賜りました。

その後、最年長の河合清和さん(4期生)の乾杯の音頭で宴会が始まり、宴たけなわの中、旭堂南明さん(故旭堂南陵さん(20期生)の愛弟子)に名談「鉢の木」を講じていただきました。南明さんは尊敬する師匠と同じ舞台上に立てたことに感銘し、我々と同様に彼女もまた同窓生のように思える良い時間を過ごすことができました。

そして最後は、恒例となっている音楽部・フォークソング部出身者のリードによる女学校校歌・高校校歌・生徒歌で締めさせていただきます、お開きとなりました。



(写真①)

8月19日(土) 「第38回 江戸・東京さんぽ」を開催 (写真②)

あいにくの厳しい猛暑の中、今回は「夏のアートアクアリウム展2023～銀座の金魚～」と銘打った展示会を観賞するという企画でした。

再び本部から泉陽会副会長の岡本雄介さんにご参加いただき、総勢21名で午前中の銀座に集合しました。まずは、150基もの水槽を泳ぐ5,000匹もの金魚たちとご対面。その後、花道家の假屋崎省吾さんとコラボした「フラワーリウム」で、生け花とその香りを楽しみました。

この他、折り紙で作成された金魚たちが舞う「オリガミリウム」、竹を想起させる「金魚の竹林」、昔ながらのお祭りを想起させる「提灯リウム」など、見どころは盛り沢山でした。

最後は、地下鉄銀座線で移動し、日本橋詰の和風レストランでランチコースをいただき、散会いたしました。

11月18日(土) 「第39回 江戸・東京さんぽ(秋)」を開催 (写真③)

今回も前支部長の鈴木良之さん(13期生)の提案で、「小石川植物園」を午前中に散策しましたが、実はこの



(写真②)

場所は、NHK2023年度前期の連続テレビ小説「らんまん」の主人公である、牧野富太郎博士ゆかりの地なのです。

それにしても、その都度都度のNHK連続ドラマや大河ドラマゆかりの地をピックアップするところは、「ひょっとして鈴木前支部長は、NHKのまわしもんじゃないのかな?」と思わせるほどの徹底ぶりです、その企画力に毎々舌をまき、同時に感謝するところでもあります!

ちなみに、小石川植物園は、1684年に徳川幕府が設けた「小石川御薬園」が前身で、1877年の東京大学設立当時から植物学の研究の場として利用されてきました。

今回の参加者は、昭和27年から昭和54年までの17名というこじんまりしたものとなりましたが、まず、ミニ企画展「牧野富太郎と小石川植物園」が開催されている「柴田記念館」を見学しました。

その後、珍しいニュートンのリンゴの木・メンデルのブドウの木・ハンケチの木や樹齢数百年のヒマラヤ杉・菩提樹の大木を観るにつけ、そのすべてに名札が付いていたこともあり、皆さんの興味を一層かきたて、良い勉強になったようでした。

観覧終了後は、徒歩15分ほどのイタリアンレストランにて昼食を摂りながら、次回の「さんぽ」候補地の話などで盛り上がり、散会となりました。



(写真③)

以上のとおり、東京支部では年に3度は集まっておりますので、岡本雄介さんよろしく、大阪本部のみなさんもおぜひ参加してみてください。お待ちいたしております。どうぞよろしくお願いいたします。

(編集者より)

東京支部の皆さんが、楽しく同窓会活動をされている様子がとてもよく伝わってきました。今後とも健康に留意され、引き続き楽しくお過ごしください。これからも、東京支部からのたよりを楽しみにしております。

第150回泉陽オープンゴルフ開催のご報告

幹事：竹山三郎(昭和48年卒25期)

令和6年3月19日晴天のもと、天野山CCにて第150回泉陽オープンを20名参加で開催しました。

150回節目の大会は昭和27年卒から昭和62年卒と幅広いメンバーで1日楽しくプレーできました。

40年近く先輩諸氏が続けてこられた大会を今後も新しいメンバーを加え継続していきます。



2024年3月19日 天野山カントリークラブ

第151回 泉陽会ゴルフコンペ開催のご案内

開催日時；令和6年5月14日(火)

開催場所；天野山C.C.

新規参加者大募集！

幹事；竹山三郎(090-3358-0392)まで



順位	競技者名	卒年	NET
優勝	岩橋 正	S37	72.0
準優勝	吉田 勝	S51	72.6
3位	吉山 論	S60	74.6
4位	伊藤裕康	S44	75.0
5位	阿蘇 誠	S44	75.0
6位	間宮泰芳	S55	75.2
7位	田頭 巖	S34	76.4
8位	竹山三郎	S48	76.8
9位	田中康夫	S44	77.8
10位	宮田年雄	S27	78.8
11位	滝川修次	S50	79.0
12位	井関洋一	S48	80.2
13位	辻野日出子	S36	80.4
14位	中井泰三	S40	81.0
15位	中野 等	S49	81.0
16位	野田久志	S44	82.0
17位	築地睦郎	S50	83.0
18位	打越 勝	S44	83.2
19位	楠田行利	S50	93.0
20位	光田尚代	S62	109.0

混声合唱団『コールいづみ』からのお誘い

基本第2、第4月曜日午後1時半から泉陽会館で体操、発声、コーラスの練習をしています。

卒業してからもこんなに母校に通えて、そのうえ、歌がうまくなるなんて思ってもいませんでした。(個人によって感想はちがいます笑)

今は、サンスクエア界でのコンサート(8月31日(土)午後)に向けて、金子みすゞの詩に指導者の石若雅弥氏(52期生)作曲の作品を練習しております。

子育て中の方も、お子さんをつれて気軽に練習におこしください。大歓迎いたします。

コーラスをはじめたい男性の方も大歓迎です。

年に数回、現役生や大学生と練習ができるのもコールいづみならではの。

ぜひ、一度見学におこしください。

発表会の様子はこちらから→



問い合わせ Chor.Idumi@gmail.com

金山裕子(19期生) 090-3037-5252

廣田恭子(25期生) 090-6066-7078

石井淳子(24期生) 090-6554-3100

同窓会だより



14期生(昭和37年卒)同窓会

私たち八十歳を超えました
～元気で頑張ります～

東京オリンピック開催の昭和39年、私たちは20歳。それから60年の歳月が経過しました。

思い起こせば、昭和59年に第1回同窓会を「南海グリル」で開催し、その後、およそ4年毎に催してきました。

令和5年11月12日に、11回目を初回と同じ会場の「南海グリル」で実施し、これをもって14期生同窓会の幕を閉じることにしました。

最終同窓会には65名の皆さんが出席くださいました。(昭和37年の卒業者は、8クラス・397名でした)

当日は、互いに旧交を温めるとともに、繰越金を活用して、主に堺の名産品が全員に当たる福引を行い、短い時間でしたが楽しく過ごすことができました。

毎回森山君が指揮する、エンディングソング「朝日に輝く和泉の山々…」を、みんなで歌えなくなるのが少し寂しいです。

皆さん、どうぞお健やかに過ごしてください。

(昭和37年卒 14期生 林 昌子 記)

(編集者より)

原稿を拝読し、改めて「月日が経つのは早いもの」ということを実感しました。これからも、人生の良き先輩として、泉陽会を通じて様々な経験を後輩の皆さんに伝えてください。

傘寿 12期生(昭和35年卒)同窓会

12期生 代表幹事 岩室 典雄

去る、2018年の喜寿同窓会の開催後は、傘寿同窓会として2021年に予定していました。

ところが、コロナ禍により延期を余儀なくされ、やっとの事で2023年10月19日に「南海グリル」に於いて開催することができました。(参加者は48名)

当日はまず、前回の喜寿同窓会開催以降、惜しく



もご逝去された恩師の三沢延一先生及び同期の方々に哀悼の意を表し、黙祷からスタートしました。(なお、恩師の三沢延一先生のご逝去により、今回の同窓会から恩師の先生方のお姿を拝する事が全くできない会合となりました)

その後、食事をしながらの懇談等で和やかに旧交を温めて会が盛り上がりましたが、あっという間に持ち時間が過ぎてしまい、最後に校歌を斉唱し、次回同窓会での再会を約してお開きとなりました。

なお、次回同窓会の幹事は3・4・6組が当番となりますのでよろしくお願いします。

(編集者より)

同窓会で恩師の姿がないというのは、本当に寂しいことだとお察し申し上げます。今後とも健康に留意され、恩師から学んだ様々な生き方を、是非とも泉陽会を通じて後輩の皆さんに伝えていただければ幸いです。

令和6年度 20期生学年同窓会 開催記

コロナが5類となり、マスクを気にせず楽しめる同窓会を、3月22日(金)に「ホテルロイヤルクラシック(旧歌舞伎座跡)」で開催しました。前回の開催から1年半と間隔が短かったので、参加者が減るのはどの心配もありましたが、前回とほぼ同様に63名の仲間が参集しました。

開会に先立ち、ご逝去された同級生のご冥福を祈って黙とうを捧げた後、恒例の最も遠方からの参加者による“献杯”で宴が始まりました。参加者からの近況報告や泉陽での思い出などをリレー方式で繋ぎ、ひと段落したところで「ビンゴゲーム」をはさみ、欠席者からのメッセージを伝え、その後は仲良しグループ、クラス毎、そして全員集合の写真撮影に移りました。



宴会の結びは校歌と生徒歌を高らかに斉唱し、次回開催まで一人一人が健康に留意して再会出来るようにと約束をしてお開きとなりました。

(編集者より)

久しぶりにマスクなしでの同窓会を楽しむ様子が伝わってきました。今後も健康第一で、後輩の皆さんへの支援をよろしくお願いいたします。

昭和49年卒 26期生学年同窓会



令和6年4月7日(日)、大阪市の「道頓堀ホテル」において、昭和49年卒業26期の学年同窓会を開催いたしました。卒業以来、通算7回目になります。恩師の先生は美術の青山充夫先生、卒業生は114名が出席しました。

一次会は3時間、二次会は同じ場所で2時間と大

いに盛り上がりました。

青山先生からは、先生手作りのミニオブジェ(木工品)を、参加者全員に一個ずつプレゼントされました。

また、同期の関口卓治君(ペンネーム関口登志)からは、彼がベトナム・ホーチミン市に日本語教師として赴任した経験をもとにした小説「サイゴンに咲く」(文芸社)を、全員に一冊ずつプレゼントされました。

(編集者より)

写真を拝見していると、とても楽しい同窓会だったことが伝わってきます。これからも後輩の皆さんに、泉陽会を通じて様々な生き方を伝えていただきたいと思います。

還暦 第7回 34期生同窓会のご報告

34期生 山口 正晃

令和5年10月22日(日)、スカイバンケット「ウィンドーズ」(ヒルトン大阪35階)において、第7回34期生同窓会を開催いたしました。今回は還暦記念ということもあり、初めて参加される方も多く、総勢143名の同窓生で旧交を温める良い機会とな

りました。

次回の同窓会は「2028年秋」に開催予定です。

(編集者より)

還暦ということ、人生にひと区切りを付ける方もいらっしゃると思います。是非とも、今まで歩んで来られた様々な道を、泉陽会を通じて後輩の皆さんに紹介してあげてください。



成人 成人記念同窓会の報告

(令和4年卒・74期)

開催日時；令和6年1月4日(木) 17時～
開催場所；ホテル アゴーラ リージェンシー 大阪堺
参加人数：279名(卒業生386名)
※今年は6名の先生方を来賓としてお迎えしました。

副代表 石崎 廣大(令和4年卒74期)

令和6年1月4日(木)に、南海本線堺駅前の「ホテルアゴーラ・リージェンシー大阪堺」において、「泉陽高校74期成人記念同窓会」を開催しました。

今年は6名の先生方を来賓としてお迎えし、卒業生279名が参加しました。

新型コロナウイルスの感染拡大も少し収まり、検

温やテーブル上のアクリル板の仕切りも無く、マスクを付けなくても良い状態で久しぶりの友人と顔を合わせました。

全員の協力のもと、豪華景品つきのくじ引き大会や全体集合写真も撮影でき、非常に充実した時間が過ごせました。

久しぶりの友人との再会に会話も弾み、すぐに時間が経過するほどあっという間の同窓会でした。

また数年後に、第2回目の同窓会を開催することを決め、散会しました。

(編集者より)

これからの人生、いろいろとあります！でも、「人生は一度きり！」自分の人生の主人公は自分です。

どんな時でも、一生付き合うことになる自分を粗末にせず、大切にしてくださいね。人生は楽しく！



大学合格状況

令和5年度大学合格状況

	合格者数
国立大学	79
公立大学	49
私立大学	1,234

国立大学

大学名	合格者数
和歌山	26
大阪教育	10
大阪	9
神戸	8
北海道	2
京都工織	2
奈良教育	2
奈良女子	2
香川	2
愛媛	2
九州	2
北海道教育	1
東北	1
東京外国語	1
信州	1
三重	1
滋賀	1
京都	1
鳥取	1
広島	1
徳島	1
高知	1
琉球	1
合計	79

公立大学

大学名	合格者数
大阪公立	32
兵庫県立	3
神戸市外国語	3
和歌山県立医	3
奈良県立	2
奈良県立医	2
横浜国立	1
京都市立芸術	1
岡山県立	1
県立広島	1
合計	49

私立大学①

大学名	合格者数
近畿	427
関西	223
関西学院	69
同志社	64
立命館	53
龍谷	44
武庫川女子	42
畿央	40
大阪工業	34
関西外国語	27
大和	23
摂南	21
同志社女子	17
桃山学院	14
桃山学院教育	14
神戸女学院	14
大阪経済	13
甲南	12
京都女子	8
関西医療	8
追手門学院	7
甲南女子	5

私立大学②

大学名	合格者数
立命館アジア	4
大阪医科薬科	4
青山学院	3
芝浦工業	3
京都薬科	3
京都産業	3
関西医科	3
神戸女子	3
早稲田	2
慶応	2
神田外国語	2
中京	2
森ノ宮医療	2
神戸学院	2
神戸薬科	2

私立大学③

大学名	合格者数
酪農学園	1
東北医科薬科	1
東洋	1
日本	1
法政	1
城西国際	1
鈴鹿医療	1
京都芸術	1
京都橘	1
花園	1
大阪経済法科	1
四天王寺	1
帝塚山学院	1
大手前	1
岡山理科	1
合計	1,234

(編集者より) 合格おめでとうございます。
「進取果敢」と「探求心」のフレーズを忘れずに、社会貢献ができる人間になってください。
なお、詳細については、表紙のQRコードで確認できます。

令和6年卒 76期代議員クラス幹事のご紹介

- 1組 田中 瑛介 藤原 詠士
- 2組 秋山 大綺 濱田 美緒 松本 眞祐
- 3組 馬場 智紘 前田 唯芙
- 4組 黒田 倅輝 原 ほのか 山野 永暉
- 5組 藤田 樹 山本 心優
- 6組 井上 朝陽 川戸 善國 米田 琴葉
- 7組 飯塚 隆斗 中川 春奈
- 8組 穴井 元陽 長尾 茉咲 下線は代議員です。



(編集者より)
選ばれた皆さん、今後は泉陽会にいろいろな情報を送ってください。(送信先は「koho@senyokai.jp」です)
特に、代議員の方は、「代議員会」が泉陽会館で年3回行われますので、自分が母校にできる事を探しに来ませんか。(代議員会の日程は、表紙のQRコードで確認できます)

令和6年度 教職員異動

2024. 4. 1 現在

転 出					転 入				
職名	教科	氏 名	転出先	備 考	職名	教科	氏 名	転入元	よみがな
首席	化学	境谷 秀一	本校(教諭)	役職定年	首席	数学	藤林 則孝	本校(教諭)	ふじばやし のりたか
教諭	国語	大橋 英敏	桜和高		教諭	国語	金井 孝輔	伯太高	かない こうすけ
	物理	黒木 陽仁	三国丘高			物理	松原 千敏	佐野高	まつばら ちとし
	英語	井山 哲也	-	退職		英語	藤原 慈乃	今宮高	ふじはら よしの
	英語	脇田 直弥	堺東高			英語	河合 冬樹	堺工科高	かわい ふゆき
養護教諭		伊藤久美子	-	退職	養護教諭	戸田 千尋	新規採用	とだ ちひろ	
実習教員	生物	小倉 拓也	八尾翠翔高	新規採用(教諭)	実習教員	家庭科	谷 とも子	だいせん 聴覚高等支援	たに ともこ
再任用	物理	鳥山 雅史	本校(非常勤)		講師	数学	三代 崇	長野高	みしろ たかし

むすびの会

私たちは、会員及び関係者の方々のご縁を願って活動しておりますが、今年で31年目を迎えます。その間の成立者は、今年のカップルも含めて130組になりました。

昨今はマッチングアプリ、専門業者など多数ありますが、当会は安心だということで皆さん入会されています。

現在は、委員7名がより良い御縁に巡り会えますようにと親身にお手伝いさせて頂いております。

随時、会員及び委員を募集しております。申し込み、詳細、質問等は ホームページよりお願いします。

(編集者より)

おめでとうございます！

このご縁を大切に末永くお幸せに！！



「泉陽会」って、いったいどんな組織？

「泉陽会」は会員で成り立っており、その中から次のような方々を選出され、定期的に会議を行って運営に当たっています。

執行部：会長をトップに役員や執行委員で構成されており、会員相互や母校の発展のために尽力しています。誰がどの分野を担当しているのかなど、詳しくは表紙のQRコードで確認できます。

代議員：各期ごとに複数名が選ばれています。なお、代議員名簿については、表紙のQRコードで確認できますので、皆さんの期生は誰なのか、改めて確認してみたいでしょうか。

また、代議員の方は「代議員会」に出席できますので、是非、母校のために自分ができる事を探しに来てください。(代議員会の日程については、表紙のQRコードで確認できます)

①執行委員会の見学

泉陽会では、定期的に「執行委員会」を開催していますが、今年度からは、希望される方については随時見学していただけるようになりました。(日程については、表紙のQRコードで確認できます)あなたも母校のためにできる事を探しに来ませんか？ 人生の先輩方とのいろいろな話を通じて、熱い母校愛に触れることができるかもしれません。

②泉陽会の運営

泉陽会が会員相互や母校のために活発な活動をするためには、やはり「資金」が必要です。これは、会員の皆さんから納入される「年会費」が主な資源となっています。言わば「学校版クラウドファンディング」のようなものですので、「母校の支援がしたい！」と考えている会員の皆様は、是非とも年会費の納入をお願いいたします。

***最も簡単な母校の支援方法は「年会費の納入」です！**

③泉陽会の財政状況

卒業生による新規会員が減少するなか、現在、経費削減の努力にも限界が見え始め、納入者数の伸び悩みもあって、収入については先細りの状況です。このままでは、泉陽会及び母校に対する支援にも支障が出かねません。そこで、引き続き年会費の納入者数の増加促進を図るとともに、毎年300万円近くの予算を計上している「会報いづみ」の発行については、広告掲載による費用の抑制を図る予定です。

④年会費の納入状況

2023年は1,337名の会員の方から年会費の納入がありました。ただ、不思議なことに、60歳前後で納入状況がガラリと変わります。理由はわかりませんが、60歳未満の納入者数は262名(全体の19.6%)で、納入者がゼロの期生も散見されました。(卒年別の納入状況については表紙のQRコードで確認できます)

当然のことですが、資金が潤沢であれば、それだけ様々な企画に着手できるとともに、泉陽会及び母校への手厚い支援も可能となります。

今後も、さらに会員の皆様に参加しやすい環境づくりに努めるとともに、魅力のあるイベントを企画することで年会費納入者の増加を図っていきたく思います。

⑤年会費の使い道

会員の皆様が最も気になるのが、やはり「年会費の使い道」だと思います。実は、年会費は皆様の分身として、母校へ様々な形に姿を変えて支援活動をしています。

例えば、次のような感じです。

- 教育振興費としてのクラブ活動への報奨金(近畿大会及び全国大会への出場)
- 母校の食堂へのエアコン設置
- 母校の教育相談室設置に伴う備品等の購入

伝言板

西加奈子さん(平成8年卒48期)

2024(令和6)年2月1日付けで、第75回読売文学賞(随筆・紀行賞)を受賞されました。(2024年2月1日読売新聞朝刊より)

西村 明さん(昭和52年卒29期)

「夢・感動・泉陽!」というサイトを開設しています。様々な分野の泉陽高校出身者について掲載されており、皆さんも一度アクセスしてみてください。必見の内容です!

楠井順子さん(昭和32年卒9期)

本人関連の記述が、教科書「小学道徳5年 ゆたかな心」(光文書院)の「助け合い傘」(P22~25)の項に掲載されています。日ごろの生活を支えてくれている人に対し、常に感謝の心を持つ道徳心が育つようにとの内容です。

能登半島地震に対する義援金

本年1月1日16時10分ごろに発生した「能登半島地震」で被災された方々へ、泉陽会から義援金を送りました。(総額は183,505円で、送金先は珠洲市役所)

泉陽会に感謝状の贈呈

昨年度、泉陽会が母校の教育相談室整備にかかる家具等調度品一式を寄付したところ、教育環境の充実に寄与したとして、大阪府知事から「感謝状」が贈られました。(令和5年7月21日付け)

29期生同窓会の開催について

オリンピック年恒例の「29期生同窓会」を今秋に開催予定。詳細はホームページで!!

泉陽会会員の出版書籍情報

泉陽会会員が関係する出版書籍のうち、情報提供のあったものを表紙のQRコードの「泉陽会会員の出版書籍情報」で確認できます。(ただし、プロの作家の方は対象外とさせていただきます)

校長ブログについて

在校生の学校生活の状況が気になる会員の方は、一度「泉陽高校校長ブログ」で検索してみてください。頻繁に更新されていますので、校内の様子がよく分かります。

昭和55年卒(32期生)同窓会案内

同窓会を開催します。久しぶりに集まって楽しいひとときを過ごしましょう。

開催日時 2024年9月28日(土)
14:00~(13:30受付開始)

場所 ホテル阪神大阪
JR環状線福島駅下車すぐ

会費 1万円

※二次会をホテル阪神大阪内で予定しています。
(会費3,000円)

追って、同窓会の案内を郵送し、出欠を確認します。

追悼

「会報いづみ」に縁のある次の方々がご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

佐野光徳さん(昭和46年卒23期)

「会報いづみ」(第52号)に生前のインタビュー記事が掲載されていますので、故人を偲ぶ意味でも是非ご覧ください。

八十 亨さん(昭和50年卒27期)

「宏和印刷株式会社」(本社:堺市堺区)の代表取締役として、長年、「会報いづみ」の印刷に携わっていただきました。「会報いづみ」の表紙右上には、会社名とお名前が印字されていました。

編集後記

今回から新たに編集に加わることになりました。コンセプトは「字は大きく、記事の内容は短く、記事の数は多く、詳細はQRコードに」という感じです。

ところで、私は卒業以来45年間、一度も母校の門をくぐることはなかったのですが、定年後に自費出版した本が縁で、令和4年度の公開講座に講師として呼んでいただきました。それ以来「母校愛」に目覚め、今では自分が母校のためにできるものを探す日々です。皆さんも、母校のために自分ができるものを一緒に探しませんか。

内容についての感想などは、次のメールアドレスにお寄せください。(koho@senyokai.jp)

なお、今回も宏和印刷の泉谷様と小田様には、編集をはじめ多方面で大変お世話になりました。この場をお借りして、お礼を申し上げます。
(29期 大浜誠一郎)